

(一社)九州観光推進機構 活動レポート

— 2018年12月号 —

主なトピックス

会員旅行会社招へい研修	1P
タイ FIT フェア商談会出展	2P
第4回理事会開催	4P
インスタグラムキャンペーンのお知らせ	6P

◆ 11月のトピックス

○会員旅行会社招へい研修

(11/1~3:大分、熊本)

関東・中京地区からの誘客拡大を目的として、会員旅行会社を対象（参加者：8名）とした現地研修を九州旅客鉄道株式会社と共催で実施しました。世界遺産、熊本デスティネーションキャンペーンをテーマに「ゆふいんの森」、「A列車で行こう」、「熊本城」、「天草の崎津集落」等を視察しました。熊本城では、「熊本城おもてなし武将隊が案内する！今しか見られない熊本城ガイドツアー」に参加し、2016年熊本地震からの復興の過程を視察していただき、「今しか見られない姿」に価値を感じていただけました。今後も研修の実施を通じて、九州への来訪者数及び滞在日数増に努めてまいります。



○濟州オルレウォーキングフェスティバルへの参加

(11/1~2:韓国・濟州)

濟州オルレウォーキングフェスティバルに開催期間中 2 日間（11月1~2日）参加しました。当日は、PRブースで九州オルレのプロモーションを行うと共に、実際に濟州オルレのコースを歩きました。これらの活動を通して、一緒に参加した九州オルレコースの自治体の担当者、オブザーバー、ガイドとも更に絆が深まりました。また、韓国の方々に向けたPRの為、リュックに九州オルレのFacebookのQRコードを掲げて歩きました。「九州に行ってみよう」と沢山の方に声をかけて頂き、良いPRの機会になったと感じております。



○JNTO 主催・機構協力 JNTO マーケティング研修会 in 福岡の開催 (11/1:福岡)

日本政府観光局（以下、JNTO）主催、当機構協力で「JNTO マーケティング研修会 in 福岡」が開催され、観光関連事業者や団体、自治体などから 70 名（関係者除く）以上の方に参加いただきました。研修会では、「欧米豪市場向けプロモーションのポイント」「富裕旅行市場の最新動向等誘客促進に向けた取り組み」「JNTO が実践するデジタルマーケティング PDCA」の 3 つのテーマについて、実際にそれらの業務にあたっている JNTO の職員が講演を行いました。

このセミナーの内容は、JNTO のサイトでコラムが掲載される予定ですので、参加できなかった方はぜひご覧ください。 <https://action.jnto.go.jp/report/1469>

○タイ FIT フェア商談会出展 (11/2~4:タイ・バンコク)

タイ FIT フェアは現地 JNTO 事務所が主催する旅行博であり、毎年 5 万名程度の一般の方々が来場されます。今年は、「Siam Paragon」というバンコク市内の中心地の富裕層向けモールで開催し、JNTO 担当者によると昨年度よりも盛況だったということでした。今年も例年通り当機構にて 1 ブースを出展し、一般社団法人佐賀県観光連盟と一緒に九州の観光情報の発信を実施して参りました。今年度の新しい取組として、6 月に招請したインフルエンサー（Kalamare 氏）が、会場の壇上にて九州のプレゼンを 30 分間実施いたしました。非常に影響力のあるインフルエンサーだったため現地でも話題になっていました。また同時に開催された旅行商談会に、一般社団法人佐賀県観光連盟、公益社団法人ツーリズムおおいたと一緒に参加し、合計 16 社と商談しました。タイの旅行会社は九州のことは認識しているようで、今後如何に商品造成まで繋げるかがポイントであると感じました。



インフルエンサー-Kalamare 氏

Kalamare 氏によるプレゼン

○タイのインフルエンサー招請 (11/5~8:福岡、佐賀、長崎、熊本)

タイではインフルエンサーによる SNS 等での発信が非常に強い影響力を持っているため、「タイの若者の感性に合う素材のインフルエンサーによる情報発信事業」の一環としてメガインフルエンサー（VRZO）を登用し招請、情報発信を実施しました。「VRZO」は 800 万名を超えるフォロワー数を有する Youtuber であり、従来と違った観点での取材、発信ができるものと期待しています。同時に一般的なトラベルブロッガー 2 名を招請し、旅主眼の発信も実施しました。



○九州各県国内 WEB 担当者会議

(11/6:福岡)

昨年に引き続き、本年も九州各県の国内 WEB 担当者を一同に会した会議を開催し、23 名に出席頂きました。

会議では、当機構が昨年度から今年度にかけてデジタルメディアに関する施策をした結果の共有や、当機構が運営するサイトのアクセス分析の報告を行い、各県担当者からは現在の課題や取り組みを報告頂きました。また、オブザーバーとして参加頂いた Google Japan Inc. から Google の考え方や最新事例、今後の方向性についてご講演頂きました。普段はなかなか顔を合わせる機会がない担当者同士が集まることで、連携を深めることができ、有益な情報交換ができました。共通の課題に対しては、忌憚のない意見をぶつけ合うこともでき、知識を深めることができました。最新のデジタルメディアのトレンドをおさえることにより、九州全体の情報発信力の強化につながり、大変有意義な会議となりました。



○第 2 回会員旅行会社担当者会議

(11/7:福岡)

会員旅行会社のうち 12 社、仕入担当者を中心に 19 名の方にご参加いただきました。当機構の事業担当者より 2018 年度の国内誘致推進部の事業である教育旅行、素材説明会等の実施結果を報告、また次年度事業である「TRY!九州 2019」キャンペーン準備の進捗状況を報告後、意見交換を行いました。特に「着地型商品の拡大」においてはそれぞれの旅行会社の目線から多数のご意見をいただき、今後の具体的なキャンペーン展開に反映していきたいと考えます。また、各旅行会社より第 3 四半期（2018 年 10~12 月）の九州における延べ宿泊者数の状況と見込を報告いただき、九州の延べ宿泊数拡大に向けた今後の対策を協議いたしました。最後には次年度「TRY!九州 2019」キャンペーンへの協力の約束をいただき、閉会となりました。



○タイのインセンティブを得意とする旅行社の招請・商談会実施

(11/12~16:熊本、宮崎、鹿児島)

タイ市場は基本的には FIT 市場ですが、インセンティブ旅行の需要も堅調であり、利益率が高いことから旅行社の関心が高まっています。そこでインセンティブ旅行を得意とする旅行会社 4 社を招請し、熊本、宮崎、鹿児島を中心にインセンティブと親和性があると思われる素材の情報提供及び熊本における商談会（熊本）を実施しました。商談会には、県、施設、ランドオペレーターの方々 9 団体に参加いただきました。



○第4回理事会開催

(11/16 : 福岡)

今年度第4回理事会を開催し、理事16名、監事2名他の出席を頂きました。会議では、2018年度の事業実施状況の報告や事業計画の変更・補正予算等を諮り、原案どおり承認を頂きました。また、来年度開催予定のラグビーワールドカップへの対応準備状況について、大分県及び熊本県からの情報提供があり、交通の問題や着地型商品の準備について意見交換がなされました。



○福岡教育大学附属福岡中学校「クールキュウシュウ推進会議 in 附中」 (11/29 : 福岡)

福岡教育大学附属福岡中学校が主催する「クールキュウシュウ推進会議 in 附中」へ参加いたしました。本会議は、国語授業の一環で観光をテーマに「九州に外国人観光客を誘致する戦略を考えて提案する（学習課題）」、「目的意識や相手意識をもって自分の考えを提案する（国語科の学習）」ことを目的とした生徒による発表会です。生徒の皆さんは、インターネットを活用して各国の特徴や観光動向を調査し、様々な視点で企画提案を行い、大変有意義な会議となりました。



○第3回九州7県修学旅行担当者会議

(11/30 : 福岡)

2018年度事業の振り返りと来年度に向けた事業の検討を行うため九州7県の修学旅行担当者の皆様と会議を開催しました。

熊本地震で大きく落ち込んだ九州への修学旅行はまだ震災前の状況にまで需要が回復しておらず、7県一体となった取り組みが必要です。九州7県合同キャラバン、合同修学旅行説明会・相談会等の事業を振り返る中で、来年度に向けて複数県でのモデルコース提案に向けた取り組みを行っていくことを確認し、ターゲットエリアの設定も合わせて今後引き続き検討していくこととなりました。



○第 63 回九州運輸コロキアムの開催（機構共催）

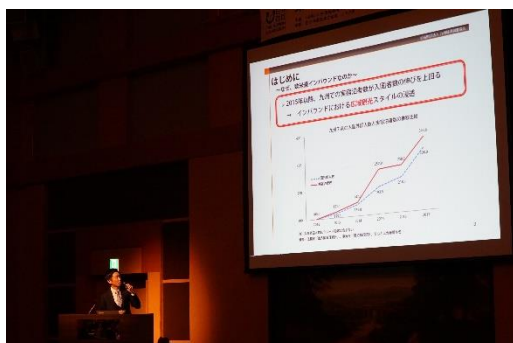
（11/30：福岡）

公益財団法人九州運輸振興センター主催、国土交通省九州運輸局・一般社団法人九州観光推進機構共催で「第 63 回九州運輸コロキウム」を開催し、約 200 名（関係者含む）もの参加者に来訪いただきました。このシンポジウムは、「国際観光シンポジウム第 2 弾」として、九州運輸振興センター主催の九州運輸コロキウムを活用させて頂き、第一部において、国土交通省九州運輸局が実施した欧米豪から見た「九州」に関する関心度の基礎調査結果と、当機構が実施した東アジア・東南アジアから見た「九州」に関する関心度の結果速報を報告いたしました。

第二部では、西日本鉄道株式会社取締役の大黒伊勢夫氏をコーディネーターに、九州で活躍する女性の一般社団法人別府インターナショナルプラザ 代表理事 稲積京子氏、合同株式会社 D.M.P LABO 代表取締役 柿田紀子氏、TOTO 株式会社九州支社プレゼンテーショングループ 重留美穂氏、株式会社ピースパーク 代表取締役 綱川明美氏、株式会社くまもと DMC 常務取締役 外山由恵氏に登壇いただき、「女性の視点で観光を考察！」として、ディスカッションを行いました。

なお、第一部の発表資料 『欧米豪から見た九州の関心度』については、九州運輸局の HP にて公開されております。http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kanko/00001_00232.html

また、九州運輸局と連携し、当機構が実施している東アジア・東南アジアに対する「九州」の関心度・認知度調査については、1 月末まで調査を実施し、調査結果については機構 HP でのニュースリリース等を予定しております。



第一部 調査報告



第二部 パネルディスカッション

○2018 年度九州アジア観光アイランド特区ガイド育成研修事業のご報告（8～11 月：福岡、鹿児島）

2018 年度九州アジア観光アイランド特区ガイド（以下、特区ガイド）の育成研修事業が終了し、本年度は 14 名の特区ガイドが新たに誕生いたしました。この事業は、2013 年度より、中国語、韓国語、タイ語の地域通訳案内士を育成しており、本年度の合格者を合わせて 275 名の特区ガイド（合格後、福岡県に登録申請が必要であり登録者の人数とは異なる）を育成してきました。

また、本年度は、スキルアップセミナーの充実（座学やモニターツアー等）や九州内の観光案内所や旅行会社等からの特区ガイドに対するニーズ調査や特区ガイドの就業実態調査に取り組んでいます。本年度の調査結果を踏まえ、特区ガイドのさらなる活用を進めていくべく事業を進めていきます。

特区ガイドについては、九州アジア観光アイランド特区ガイド総合サイトをご覧ください。

また、特区ガイドについてのお問い合わせは、特区ガイド担当までお願いします。

特区ガイド総合サイト URL：<https://www.welcomekyushu.jp/kaiin/kyushutokkuguide/news/>

特区ガイド担当：tel:092-751-2950、mail:kyushutokkuguide@welcomekyushu.jp

◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ インスタグラム「1万フォロワー突破記念プレゼントキャンペーン」のお知らせ

当機構が運営する公式 Instagram (@kyushu_tourism_information) が、このたびフォロワーが 1 万人を突破いたしました。これまでの感謝の意を示すとともに、さらなるフォロワーの拡大と、九州の魅力ある情報発信のため、12月5日（水）より、Instagram を活用したフォトコンテスト「1万フォロワー突破記念プレゼントキャンペーン」を実施いたします。

応募方法は、Instagram アカウント「@kyushu_tourism_information」をフォローし、ハッシュタグ「#九州」「#onsenislandkyushu」をつけて「九州の魅力」をテーマに写真を投稿してください。

九州の人気宿ペア宿泊券（3組計6名様）があたります。

キャンペーン告知サイト URL : <https://www.welcomekyushu.jp/campaign/>



○ 九州観光推進機構サイトの会員向け情報ページに「観光統計情報」を掲載（12/5）

「九州観光関連の最新統計データ」を会員向け情報ページにアップしました。九州への入国外国人数（2018年9月確定値/10月速報値）、九州における延べ宿泊者数（2018年9月第2次速報値）などを掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

なお、会員向け情報ページを閲覧するには、ID とパスワードが必要になります。ご不明な点は下記お問い合わせ先までお願いします。

○ 12月以降の主な事業

- ・首都圏プロモーション現地取材（12月3～5日、鹿児島県 奄美大島・徳之島）
- ・豪州 Japan Roadshow2018 への参加（12月4日・6日、オーストラリア ブリスベン・シドニー）
- ・2018年度第2回九州各県国内担当者会議及び観光素材説明会担当者会議（12月6日、福岡）
- ・九州修学旅行現地視察会（12月22～24日、鹿児島県・宮崎県・熊本県）

◆◆ お問い合わせ先 ◆◆

一般社団法人 九州観光推進機構 企画部 野間、黒田

TEL:092-751-2943（代表）

092-751-2946（国内誘致推進部^タ イヤリン）

092-751-2947（海外誘致推進部^タ イヤリン）

092-751-2951（九州観光広報センター^タ イヤリン）

FAX:092-751-2944

E-mail : infokyushu@welcomekyushu.jp